

【工夫のポイント】

- 畑かんを利用し、計画的な作付により生産性と增收性を確保
- 自給飼料の增收等により、購入飼料の低減が図られ、計画的な増頭を実現
- 基幹作物のさとうきびの未利用資源活用など耕畜連携による自給飼料確保

【取組地域の概要】

○位置

おおしまぐんいせんちょう
鹿児島県大島郡伊仙町

鹿児島県

いときな
糸木名地区
(56.2ha)



○主要作物

・さとうきび、ばれいしょ、飼料作物

○主な支援施策

・国営かんがい排水事業
(H9~H29)

・県営畑地帯総合整備事業(H28~)

基盤

畑かん整備により生産性と增收性を確保

畑かん施設の整備により、栽培面積拡大と定着促進が図られ、収量もアップ。



畑かん
整備
(H28~)

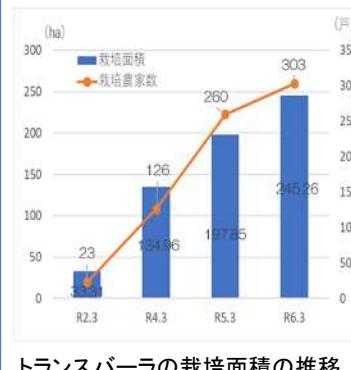
【整備前】

飼料栽培では夏場の干ばつによる収量減が問題となっており、安定生産・収量確保のためには水の確保が課題であった。



生産現場

飼料(トランスバーラ)栽培定着と給餌改善

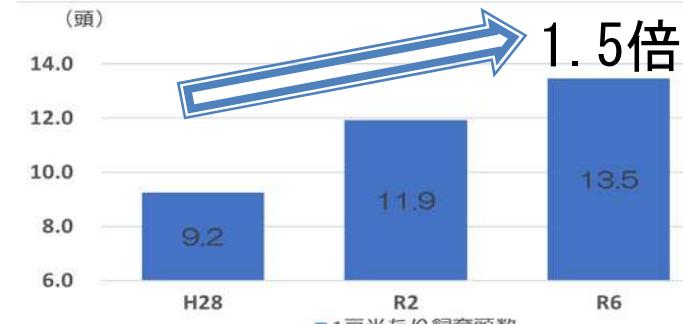


- 生産性、栄養価ともに優れることから栽培面積は増加している。
- 嗜好性もよく、子牛への給餌も可能なことから、濃厚飼料や購入乾草の量を削減できて経営改善効果は高い。

地域の取組

飼料費低減に向けた畑かん水利用の推進

- 畑かんマイスター等による水利用技術の実証と成果の波及。
- ばれいしょ後作の飼料栽培における畑かん水利用による安定生産・增收。
- 未利用資源であるさとうきび収穫残渣ハスマの給餌活用。



畑かんマイスターM氏

○ 畑かん利用により自給飼料の生産安定・增收が図られ、計画的な増頭が実現している。

○ 地域においても、栄養価・収量性・嗜好性の高いトランスバーラなどの飼料作物や耕畜連携による自給飼料の確保の仕組みづくりが行われている。